

# News Release

平成 29 年 1 月 10 日  
株式会社日本政策投資銀行  
代表取締役社長 柳 正憲

## 「自動運転開発をめぐる国内外の動向 ～北海道における自動運転技術の開発拠点化を考える～」を発行

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、このたび「自動運転開発をめぐる国内外の動向～北海道における自動運転技術の開発拠点化を考える～」と題した調査レポートを発行しました。

当レポートは、米国ミシガン州デトロイト地域の先行事例などを参考に、テストコースや公道走行試験の観点から、「北海道における自動運転技術の開発拠点化の可能性やポイント」について整理、考察したものです。

今後、「北海道における自動運転技術の開発拠点化」を実現していくためには、米国先行事例などから得られた示唆に対し、日本の自動車メーカーのニーズ、基準やルール等の国際調和の動向等を捉えながら、以下の点を整理、検討していくことがポイントになると考えます。

- (1) 北海道の潜在力＋優位性（道内 28 のテストコース等の存在）
- (2) 日本版（＝北海道版）Mcity・ACM・MDOT Connected Corridor（共用テストコース＋公道モデルコース）の誘致・機能・付加価値づけ
- (3) 北海道の地方創生の視点から社会実証試験事業を誘致・促進

当レポートをご希望の方は、DBJ ウェブサイト「地域・海外レポート（北海道）」（<http://www.dbj.jp/investigate/area/hokkaido/index.html>）に掲載していますので、ご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決でお客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、今後とも地域に役立つ情報発信を積極的に行ってまいります。

**【お問い合わせ先】**

北海道支店 企画調査課 電話番号 011-241-4117